

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年7月26日 (2018.7.26)

【公開番号】特開2017-43653(P2017-43653A)

【公開日】平成29年3月2日 (2017.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-009

【出願番号】特願2015-164856(P2015-164856)

【国際特許分類】

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/322 (2014.01)

C 0 9 C 3/10 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

C 0 9 B 67/46 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 17/00

C 0 9 D 11/322

C 0 9 C 3/10

B 4 1 J 2/01 5 0 1

B 4 1 M 5/00 E

C 0 9 B 67/46 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月13日 (2018.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着色微粒子と中和剤とを含有する着色微粒子分散体であって、  
 該着色微粒子が、顔料存在下、酸性基を有する重合性モノマーを含むモノマー混合物を  
 乳化重合してなり、該酸性基がカルボキシ基であり、  
該中和剤が水溶性アミン化合物を含み、  
該酸性基が該水溶性アミン化合物で中和されてなり、  
 p H が 6 以上 11 以下である、着色微粒子分散体。

【請求項 2】

前記水溶性アミン化合物が炭素数 2 以上 8 以下の化合物である、請求項 1 に記載の着色  
 微粒子分散体。

【請求項 3】

インクジェット記録用水系インクに用いられる、請求項 1 又は 2 に記載の着色微粒子分  
 散体。

【請求項 4】

着色微粒子と中和剤とを含有する着色微粒子分散体の製造方法であって、  
 工程 1：顔料存在下、酸性基を有する重合性モノマーを含むモノマー混合物を乳化重合  
 して、着色微粒子分散体 p を得る工程、及び、  
 工程 2：着色微粒子分散体 p と水溶性アミン化合物を含む中和剤とを混合して、p H が  
 6 以上 11 以下の着色微粒子分散体を得る工程を有し、

前記酸性基がカルボキシ基であり、  
工程 2 において、着色微粒子分散体 p の酸性基が水溶性アミン化合物で中和されてなる  
、着色微粒子分散体の製造方法。

【請求項 5】

前記工程 1 が下記工程 1 a 及び工程 1 b を含む、請求項 4 に記載の着色微粒子分散体の製造方法。

工程 1 a : 顔料と、界面活性剤 a と、水とを含む混合液を分散して、顔料分散体 a を得る工程

工程 1 b : 顔料分散体 a と酸性基を有する重合性モノマーを含むモノマー混合物とを混合し、乳化重合して、着色微粒子分散体 p を得る工程

【請求項 6】

前記工程 1 a で、前記混合液がさらに有機溶剤 a を含有する、請求項 5 に記載の着色微粒子分散体の製造方法。

【請求項 7】

前記水溶性アミン化合物が炭素数 2 以上 8 以下の化合物である、請求項 4 ~ 6 のいずれかに記載の着色微粒子分散体の製造方法。